

1. はじめに

本資料では授業支援システムにおける成績簿に関し、次の項目を説明します。

- 得点の算出
- 未提出および未受験者への対応

2. 得点の算出

2.1 得点を設定できる機能

成績簿は次の機能で得られた得点を集計します。

- 課題
- テスト/アンケート
- 掲示板
- 出席管理システム（小金井および市ヶ谷田町キャンパスのみ）

代表的な事例を図1に示します。



The screenshot shows the 'すべての成績' (All Grades) page. The table below represents the data shown in the screenshot:

学生の名前	学生 ID	成績	出席率/Attendance rate <small>詳細</small>	出席率/Attendance rate	課題1 <small>詳細</small>	オンラインテスト1 <small>詳細</small>	未割り当て
兼松, 一郎	student16	28.57%	0	0%	25	15	N/A
兼松, 二郎	student17	17.85%	0	0%	15	10	N/A
兼松, 三郎	student18	20%	0	0%	25	-	N/A
兼松, 四郎	student19	0%	0	0%	0	0	N/A
兼松, 五郎	student20	13.04%	0	0%	-	15	N/A

注:
*括弧内の成績は、カテゴリ平均や成績計算には含まれません。

図1 「すべての成績」画面例

授業支援システム 成績簿における得点算出

2.2 表示方法

成績の表示方法は次の3通りあります。

課題あるいはテストにて設定したひとつの課題あるいはひとつのテストの単位をアイテムと呼び、その単位でそれぞれの学生の成績が表示されます。

(1) 得点

それぞれの機能にて設定した点数を基準にします。課題にて40点、テストにて30点を満点とした場合、70満点で表示されます。

(2) %表示点

それぞれの機能で設定した点数を100%として、アイテムごとに算出された%表示の点数を単純平均します。例えば、(1)の事例にあるように課題にて40点、テストにて30点が満点で、それぞれ20点、27点を得点した学生の場合、 $(20+27)/(40+30) = 0.671$ となり、得点は47点でも%表示では67.1となります。

(3) 成績

A+, A, B, C, Dといった評価は%表示点をもとにして一般的な成績基準である90点以上、80点以上90点未満、70点以上80点未満、60点以上70点未満、60点未満という区分にて判定されます。評価と%表示点の対応は「成績オプション」にて変更することができます。



本授業支援システムでは成績簿に出席率が100点満点で事前登録されており、かつ当初は点数が0のため注意が必要です。課題を25点満点、テストを15点満点とした表1の事例では、出席率の100点が加わるため、課題およびテストのそれぞれが満点の student16 でも、 $(25+15)/(25+15+100)=0.2857$ となり%表示点では28.57%と表示されます。

表 1 成績計算事例

学生 ID	成績	出席率/Attendance rate 詳細	出席率/Attendance rate	課題1 詳細	オンラインテスト1 詳細	未割り当て
student16	28.57%	0	0%	25	15	N/A
student17	17.85%	0	0%	15	10	N/A
student18	20%	0	0%	25	-	N/A
student19	0%	0	0%	0	0	N/A
student20	13.04%	0	0%	-	15	N/A

授業支援システム 成績簿における得点算出

2.3 重み付け

得点の算出は次の方法があります。

- (1) 重み付けをしない方法
それぞれのアイテムで設定した得点を集計します。
- (2) 重み付けをする方法
アイテムの上位の単位であるカテゴリを設定し、そのカテゴリにて重み付けをします。重み付けは「成績簿設定」にて行います。図2の例ではレポート成績および試験にそれぞれ 50%を割り振っています。なお、表上にある選択肢では「カテゴリ及び重み付け」を選択します。

カテゴリおよび重み付け

カテゴリなし
 カテゴリだけ
 カテゴリ及び重み付け

成績からカテゴリを除く場合は、重みに 0% を使います。

カテゴリ	%	成績簿アイテム	削除
その他/Others	0	0 アイテム	削除
グループ成績/Group Grade	0	0 アイテム	削除
レポート成績/Assignment	50	0 アイテム	削除
出席率/Attendance rate	0	1 アイテム	削除
試験/Test	50	0 アイテム	削除

[カテゴリを追加](#)

現在の総計 100%
 必要な総計 0%

図 2 カテゴリおよび重み付け事例

表 2 は表 1 を図 2 の重み付けにて再計算したものです。

重み付けをするためには「成績簿アイテム」にてアイテムをカテゴリ分けします。(手順はガイドブック P54 を参照してください。)

この事例では出席率の重み付けは 0% ですので、前頁の  で記載した問題は解消されています。

表 2 重み付けをした成績計算事例

学生 ID	成績	課題1 試験	レポート成績/Assignment Grade (50%)	出席率/Attendance rate 試験	出席率/Attendance rate (0%)	オンラインテスト1 試験	試験/Test (50%)
student16	100%	25	100%	0	0%	15	100%
student17	63.33%	15	60%	0	0%	10	66.66%
student18	100%	25	100%	0	0%	-	N/A
student19	0%	0	0%	0	0%	0	0%
student20	100%	-	N/A	0	0%	15	100%

ここで、表 2 左から 2 列目の成績にて 100% と示されている student16, student18, student20 に注目します。

student18 は課題 1 が満点でオンラインテスト 1 が未受験の学生です。また、student20 は課題 1 が未提出のため未採点でオンラインテスト 1 が満点の学生です。

こうした場合、未受験あるいは未提出は 0 点で評価すべきですが、本システムでは「未受験あるいは未提出」と 0 点が区分できるようにしています。



ただし、本授業支援システムでは未受験あるいは未採点の場合はそれらを省いて%表示の得点が計算されます。さらに A, B, C ... の評価はこの%表示の得点を基準に評価されるので、未受験あるいは未提出のアイテムがある student18 および student20 は A+ で評価されてしまいます。

3. 未提出および未受験者への対応

表 2 において student18 および student20 にある N/A は未提出あるいは未受験であることを示しています。この場合、N/A のアイテムは評価の対象にならないので成績評価が正しく行われません。

これらの課題を解消するために「成績」ページにて「成績を計算」ボタンがあり、このボタンをクリックすることによって未採点あるいは未受験のために N/A となっている得点を 0 にすることができます。

表 3 は「成績を計算」を実行した後の「すべての成績」です。表 2 と対比してみると student18 および student20 の成績が 100% から 50% になっていることがわかります。

表 3 「成績を計算」実行後の成績計算事例

学生 ID	成績	課題1 詳細	レポート成績/Assignment Grade (50%)	出席率/Attendance rate 詳細	出席率/Attendance rate (0%)	オンラインテスト1 詳細	試験/Test (50%)
student16	100%	25	100%	0	0%	15	100%
student17	63.33%	15	60%	0	0%	10	66.66%
student18	50%	25	100%	0	0%	0	0%
student19	0%	0	0%	0	0%	0	0%
student20	50%	0	0%	0	0%	15	100%

図 3 は「成績を計算」を実行し、未提出あるいは未受験の点を 0 点として評価した後の「成績」となっています。一般的にはこの方法で評価をされることが多いと思われます。

ただし、「成績を計算」を実行すると N/A のあるそれ以前の状態には戻せないため、未受験あるいは未提出についても管理をしたい場合には「成績を計算」を実行する前に「すべての成績」ページにて、「成績簿をエクスポート」ボタンにて PC にエクスポートします。Excel 上では N/A の欄は空欄になります。

学生 ID	成績
student16	A+ (100%)
student17	C (63.33%)
student18	D (50%)
student19	D (0%)
student20	D (50%)

図 3 「成績を計算」後の成績事例

4. おわりに

成績簿における得点の算出方法について説明を行いました。

これまでのことをまとめると次の点に留意する必要があります。

- 重み付けをしない場合には、出席率の満点に%表示の成績が影響されます。
- A, B, C といった成績判定をする場合、「成績を計算」を実行し、課題の未採点あるいはオンラインテストの未受験の N/A を 0 点にします。